



世田谷区議会議員

衆議院議員（東京6区）

中塚さちよ × 落合 貴之

## 世田谷りっけん対談

地域社会の現実に  
政治はどう向き合うか？

### ■「单身急増社会」に政治は応えられていない

**落合：** 昨年の統一地方選挙で、立憲民主党は東京も世田谷も男女が半々ずつになった。これまで女性が少なすぎて、女性の声が届かないところがありました。教育にしろ福祉にしろ、実際に家で担っているのは女性なのに。本当はそれではダメなんだけど…！一方で、世田谷区は一人暮らしの女性も多く、そういう人達の声は届いていない。シングルの女性に対して政治が何もしてこなかった。

**中塚：** 「結婚できないのか」と野次をとばしたり、「子ども最低3人産んで」などと言った人もいましたが、結婚や出産について政治家に”上から目線”で物を言われたくないですね。そんなことより、現実を直視して、单身女性も老後暮らしていける社会保障制度を考えていくのが議員の仕事ではないでしょうか。

**落合：** バブル以降、国民の生活が変わってきた。高齢化率が上がり、社会の変化に政治が対応できていません。それで、全世代型社会保障の議論が始まって、年金問題以来十数年ぶりに社会保障が注目されています。65歳以上の単身高齢女性が一番貧困率が高いのですが、独身女性の声が政治家に届いていない。そこをこれから改善していかななくてはならないと思っています。社会の変化に対応できていない政治に、新しい視点をしっかり入れて対応できるようにする、立憲民主党はそういう政党であるべきです。

**中塚：** 立憲民主党は前からLGBTなど、いわゆるマイノリティに光を当ててきましたが、今はそれが潮流です。単身世帯というのはとくにマイノリティではありません。私自身、長く独身だった子どももいませんが、そういう女性は今周りにとても多い。区議会で立憲は「子ども第一」を掲げていて、待機児解消、虐待防止などが最重要課題ですが、私は「女性議員＝子育て政策」ばかりではないというところをやってきました。今一番増えている将来に不安を抱える人達が、区政から一番遠いところにいる。これでは投票率も上がるわけがありません。

### ■新しい人材がもっと活躍できる場所づくりを



**落合：** 同じ首相がずっと続いて、間違いを直すきっかけがないというのが今の長期政権の問題点と感じています。株価は上がったが実質賃金は下がっている。国民一人一人は貧乏になってしまっているのに、この経済政策をずっと修正できていない。やはり一定の期間で政権が代わる必要があります。今すぐ政権交代できるの？といわれると、野党が一番問題なのは人材面。野党で選挙

に出て当選できる人が10年近くいなかった。元大臣とか有名な人しか当選していない。若い人、新しい人材が活躍できるような場所をつくっていく必要があります。これからはやっぱり女性かな。そのサポートを僕自身もしていきたいと思っています。

**中塚：** 連続2期当選した落合議員にはまさに若手の先頭に立ってくれることを期待しています。区議会の立憲には、昨年の選挙で、新人といっても私より年長で社会経験を積んだ女性達が入ってきました。早速しっかりした議会質問もされていて、私も大いに刺激を受けています。

**落合：** それぞれ専門性があり即戦力になる人を擁立できた。その中で中塚さんは介護の専門家ですが、政策では社会保障に力を入れてほしいというのが世論調査でも1位で、年金以外はほとんど区か都の仕事となっている。議会に陳情をするにも、現場でやっている区議会議員がいるというのは貴重なことだと思います。中塚さんにはそういう点で窓口となって、区民の皆さんのために働いてほしい。

**中塚：** 区議を4期やらせていただいて、世田谷は広いですが、介護のことに限ってはほんとうに区内全域から、色々な相談やお誘いをいただくようになりました。とても嬉しくやりがいを感じています。

### ■どんな人も地域に根付いて暮らし続けられる社会に

**落合：** 人口減少時代に、世田谷区は珍しく人口が増えています。若年層の人口も増えている。外の人が世田谷を選んでくれて、根付く人も多い。僕はたまたま世田谷生まれ世田谷育ちですが、区長だって元々は区民ではない(笑)。そういう人が選ばれている。どういう人たちも活躍できる場が“世田谷らしさ”なのかなと思っています。色々な出自の人たちが活躍できる良さを残していくことが、ひいては日本の発展にもつながっていくのではないかなと。

**中塚：** 私のような地方出身者がこの世田谷にも多いわけですが、はっきり言って生活は大変。憧れの街に来て、一人暮らしで仕送り貰ったり働いているうちはいいけど、子どもができたり、年をとって介護施設に入るとなったら、お金がかかってやっていけないと出ていく人も実は少なくありません。住み慣れた地域で子育てし介護を受けるということが、当たり前ではなく贅沢品になってしまっている。こんな社会はおかしくないですか!？。

**落合：** ええ、だから変えなきゃいけない！ 共に頑張りましょう！！



### 「自治体議員がん政策研究会」を立ち上げました

がん罹患経験のある議員やがん政策に力を入れている議員に声をかけ、研究会を立ち上げました！定期的に集まり、各自治体のがん対策や患者支援の取り組みに関する学習会や視察等を行っています。成果を政策提案に生かすとともに、今後はがん患者・家族、医療福祉従事者や関心ある区民が幅広く集うイベントなども開催予定です。今後の展開にぜひご注目ください。



Facebook ページ

自治体議員がん政策研究会

検索



左から、小林ひろえ八王子市議会議員、筆者、酒井なつみ江東区議会議員、高木さとし狛江市議会議員、田中ゆきえ新宿区議会議員

### 中塚さちよ プロフィール

- 1975年 札幌市生まれ。
- 衆議院議員小宮山洋子事務所政策スタッフ（介護保険・障害者政策担当）
- 成城大学大学院及び明治学院大学大学院修了（文学・社会福祉学修士）
- 民間シンクタンク研究員として勤務
- 現在、世田谷区議会議員（4期）。民間事業所ケア訪問介護事業所勤務
- マネージャーとしても勤務。